



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **11282854 A**(43) Date of publication of application: **15 . 10 . 99**

(51) Int. Cl. **G06F 17/30**
G06F 12/00
G06F 12/00
G06F 17/60

(21) Application number: **10079399**(22) Date of filing: **26 . 03 . 98**(71) Applicant: **NEC INFORMATEC SYSTEMS LTD**
NEC CORP

(72) Inventor: **TAKANO KOICHI**
SHIROMIZU AKIRA
IMOTO FUMIO
MATSUMOTO SHINJI

(54) **INTERMEDIATE DOCUMENT MANAGEMENT SYSTEM, INTERMEDIATE DOCUMENT MANAGING METHOD AND RECORDING MEDIUM IN WHICH INTERMEDIATE DOCUMENT MANAGEMENT PROGRAM IS RECORDED**

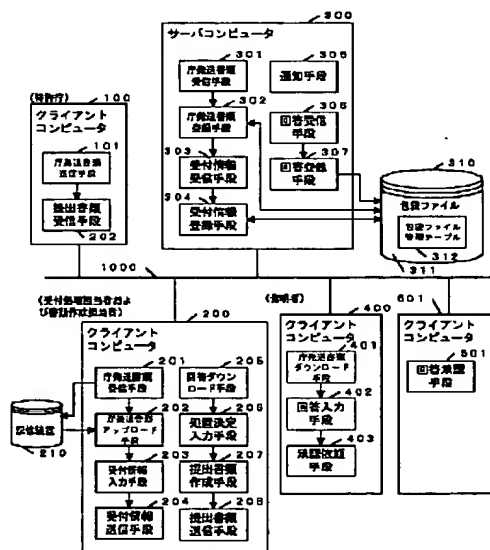
prepared based on the dispatched document by the replier in the storage device 310 is included in the client computer 400.

COPYRIGHT: (C)1999,JPO

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To prepare a document to be submitted to a document from the Patent Office by using plural computers connected with a communication network.

SOLUTION: In an intermediate processing management system with which client computers 200 and 400 are connected via the communication network, the client computer 200 is provided with a dispatched document receiving means 201 to electronically receive a dispatched document to be transmitted from the Patent Office, a registering means 202 to register the dispatched document electrically received by the receiving means in a storage device 310 and a reply submitting means 208 to output a reply document to the dispatched document to be registered in the storage device 310 by a replier and to transmit the document to be submitted which is prepared by a person in charge of a reply processing to the Patent Office based on the reply document and a reply document preparing means 402 to output the dispatched document registered in the storage device 310 based on an indication from the replier and to register the reply document to be



(51) Int.Cl.⁶

識別記号

F I

G 0 6 F 17/30

G 0 6 F 15/40

3 7 0 B

12/00

5 1 2

12/00

5 1 2

5 4 5

5 4 5 M

17/60

15/21

Z

15/403

3 8 0 D

審査請求 有 請求項の数24 O L (全 15 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号

特願平10-79399

(22) 出願日

平成10年(1998) 3 月26日

(71) 出願人 394017491

株式会社エヌイーシー情報システムズ

神奈川県川崎市高津区坂戸 3 丁目 2 番 1 号

(71) 出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目 7 番 1 号

(72) 発明者 高野 孝一

東京都港区芝五丁目 7 番 1 号 日本電気株式会社内

(72) 発明者 白水 明

東京都港区芝五丁目 7 番 1 号 日本電気株式会社内

(74) 代理人 弁理士 京本 直樹 (外 2 名)

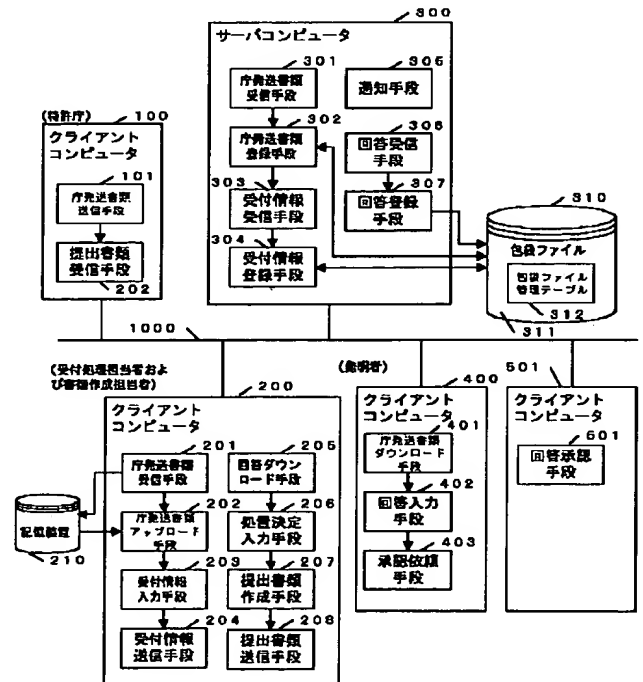
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 中間書類管理システム、中間書類管理方法および中間書類管理用プログラムを記録した記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 通信ネットワークに接続された複数のコンピュータを使用して庁発送書類に対する提出書類を作成する。

【解決手段】 クライアントコンピュータ 200 および 400 が通信ネットワークを介して接続された中間処理管理システムにおいて、クライアントコンピュータ 200 は、特許庁から送信される発送書類を電子的に受信する発送書類受信手段 201 と、該受信手段で電子的に受信された発送書類を記憶装置 310 に登録する登録手段 202 と、回答者により前記憶装置に登録される前記発送書類に対する回答書類を出力し、該回答書類に基づき回答処理担当者が作成する提出書類を特許庁に送信する回答提出手段 208 とを備え、クライアントコンピュータ 400 は、回答者からの指示に基づき、記憶装置 310 に登録された発送書類を出力し、該発送書類に基づき回答者が作成する回答書類を記憶装置 310 に登録する回答書類作成手段 402 とを含む。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 第1および第2のコンピュータが通信ネットワークを介して接続された中間処理管理システムにおいて、

前記第1のコンピュータは、

特許庁から送信される発送書類を電子的に受信する発送書類受信手段と、

該受信手段で電子的に受信された発送書類を記憶装置に登録する登録手段と、

回答者により前記記憶装置に登録される前記発送書類に対する回答書類を出力し、該回答書類に基づき回答処理担当者が作成する提出書類を特許庁に送信する回答提出手段とを備え、

前記第2のコンピュータは、

前記回答者からの指示に基づき、前記記憶装置に登録された発送書類を出力し、該発送書類に基づき前記回答者が作成する前記回答書類を前記記憶装置に登録する回答書類作成手段を備えたことを特徴とする中間処理管理システム。

【請求項2】 前記登録手段は、前記受信手段で電子的に受信された発送書類と該発送書類に係る特許出願番号とを関連付けて記憶装置に登録することを特徴とする請求項1記載の中間処理システム。

【請求項3】 前記回答書類作成手段は、所定の回答入力画面を前記回答者に提示し、該回答入力画面に該回答者が必要事項を入力したものを前記回答書類として前記記憶装置に登録することを特徴とする請求項1または2記載の中間処理管理システム。

【請求項4】 前記第1のコンピュータは、前記発送書類の特許庁からの受信を前記回答者宛に通知する第1の通知手段を含むことを特徴とする請求項1、2または3記載の中間処理管理システム。

【請求項5】 前記第2のコンピュータは、前記回答書類の前記記憶装置への登録を前記回答処理担当者宛に通知する第2の通知手段を含むことを特徴とする請求項1、2または3記載の中間処理管理システム。

【請求項6】 第1、第2および第3のコンピュータが通信ネットワークを介して接続された中間処理管理システムにおいて、

前記第1のコンピュータは、

特許庁から送信される発送書類を電子的に受信する発送書類受信手段と、

該受信手段で電子的に受信された発送書類を記憶装置に登録する登録手段と、

回答者により前記記憶装置に登録された、前記発送書類に対する回答書類であって承認情報が関連付けられているものを出力し、該回答書類に基づき回答処理担当者が作成する提出書類を特許庁に送信する回答提出手段とを備え、

前記第2のコンピュータは、

前記回答者からの指示に基づき、前記記憶装置に登録された発送書類を出力し、該発送書類に基づき前記回答者が作成する前記回答書類を前記記憶装置に登録する回答書類作成手段を備え、

前記第3のコンピュータは、

承認者の承認指示に基づき、前記回答書類と関連付けて前記承認情報を前記記憶手段に登録する承認手段を備えたことを特徴とする中間処理管理システム。

【請求項7】 前記第2のコンピュータは、前記回答書類に対する前記承認者の承認を依頼する通知を前記承認者宛に行う通知手段を含むことを特徴とする請求項6記載の中間処理管理システム。

【請求項8】 前記第1のコンピュータと前記第2のコンピュータとは同一のコンピュータであることを特徴とする請求項6または7記載の中間処理管理システム。

【請求項9】 第1のコンピュータが、特許庁から送信される発送書類を電子的に受信する発送書類受信ステップと、

前記第1のコンピュータが、該受信ステップで電子的に受信された発送書類を記憶装置に登録する登録ステップと、

前記第2のコンピュータが、回答者からの指示に基づき、前記記憶装置に登録された発送書類を出力し、該発送書類に基づき前記回答者が作成する回答書類を前記記憶装置に登録する回答書類作成ステップと、

前記第1のコンピュータが、前記回答者により前記記憶装置に登録される前記発送書類に対する回答書類を出力し、該回答書類に基づき回答処理担当者が作成する提出書類を特許庁に送信する回答提出ステップとを含むことを特徴とする中間処理管理方法。

【請求項10】 前記登録ステップにおいて、前記受信ステップで電子的に受信された発送書類と該発送書類に係る特許出願番号とを関連付けて記憶装置に登録することを特徴とする請求項9記載の中間処理方法。

【請求項11】 前記回答書類作成ステップにおいて、所定の回答入力画面を前記回答者に提示し、該回答入力画面に該回答者が必要事項を入力したものを前記回答書類として前記記憶装置に登録することを特徴とする請求項9または10記載の中間処理管理方法。

【請求項12】 前記第1のコンピュータは、前記発送書類の特許庁からの受信を前記回答者宛に通知する第1の通知ステップを含むことを特徴とする請求項9、10または11記載の中間処理管理システム。

【請求項13】 前記第2のコンピュータが、前記回答書類の前記記憶装置への登録を前記回答処理担当者宛に通知する第2の通知ステップを含むことを特徴とする請求項9、10または11記載の中間処理管理方法。

【請求項14】 前記第1のコンピュータが、特許庁から送信される発送書類を電子的に受信する発送書類受信ステップと、

前記第 1 のコンピュータが、該受信ステップで電子的に受信された発送書類を記憶装置に登録する登録ステップと、

前記第 2 のコンピュータが、回答者からの指示に基づき、前記記憶装置に登録された発送書類を出力し、該発送書類に基づき前記回答者が作成する前記回答書類を前記記憶装置に登録する回答書類作成ステップと、
前記第 3 のコンピュータが、承認者の承認指示に基づき、前記回答書類と関連付けて前記承認情報を前記記憶手段に登録する承認ステップと、

前記第 1 のコンピュータが、前記回答者により前記記憶装置に登録された、前記発送書類に対する回答書類であって承認情報が関連付けられているものを出力し、該回答書類に基づき回答処理担当者が作成する提出書類を特許庁に送信する回答提出ステップとを含むことを特徴とする中間処理管理方法。

【請求項 15】 前記第 2 のコンピュータは、前記回答書類に対する前記承認者の承認を依頼する通知を前記承認者宛に行う通知ステップを含むことを特徴とする請求項 14 記載の中間処理管理システム。

【請求項 16】 前記第 1 のコンピュータと前記第 2 のコンピュータとは同一のコンピュータであることを特徴とする請求項 14 または 15 記載の中間処理管理方法。

【請求項 17】 第 1 のコンピュータに、特許庁から送信される発送書類を電子的に受信する発送書類受信処理を行わせ、

前記第 1 のコンピュータに、該受信ステップで電子的に受信された発送書類を記憶装置に登録する登録処理を行わせ、

前記第 2 のコンピュータに、回答者からの指示に基づき、前記記憶装置に登録された発送書類を出力し、該発送書類に基づき前記回答者が作成する回答書類を前記記憶装置に登録する回答書類作成処理を行わせ、

前記第 1 のコンピュータに、前記回答者により前記記憶装置に登録される前記発送書類に対する回答書類を出力し、該回答書類に基づき回答処理担当者が作成する提出書類を特許庁に送信する回答提出処理を行わせるプログラムを記録した記録媒体。

【請求項 18】 前記登録処理において、前記受信処理で電子的に受信された発送書類と該発送書類に係る特許出願番号とを関連付けて記憶装置に登録することを特徴とする請求項 17 記載の記録媒体。

【請求項 19】 前記回答書類作成処理において、所定の回答入力画面を前記回答者に提示し、該回答入力画面に該回答者が必要事項を入力したものを前記回答書類として前記記憶装置に登録することを特徴とする請求項 17 または 18 記載の記録媒体。

【請求項 20】 前記第 1 のコンピュータに、前記発送書類の特許庁からの受信を前記回答者宛に通知する第 1 の通知処理を行わせることを特徴とする請求項 17、1

8 または 19 記載の記録媒体。

【請求項 21】 前記第 2 のコンピュータに、前記回答書類の前記記憶装置への登録を前記回答処理担当者宛に通知する第 2 の通知処理を行わせることを特徴とする請求項 17、18 または 19 記載の記録媒体。

【請求項 22】 前記第 1 のコンピュータに、特許庁から送信される発送書類を電子的に受信する発送書類受信処理を行わせ、

前記第 1 のコンピュータに、該受信処理で電子的に受信された発送書類を記憶装置に登録する登録処理を行わせ、

前記第 2 のコンピュータに、回答者からの指示に基づき、前記記憶装置に登録された発送書類を出力し、該発送書類に基づき前記回答者が作成する前記回答書類を前記記憶装置に登録する回答書類作成処理を行わせ、
前記第 3 のコンピュータに、承認者の承認指示に基づき、前記回答書類と関連付けて前記承認情報を前記記憶手段に登録する承認処理を行わせ、

前記第 1 のコンピュータに、前記回答者により前記記憶装置に登録された、前記発送書類に対する回答書類であって承認情報が関連付けられているものを出力し、該回答書類に基づき回答処理担当者が作成する提出書類を特許庁に送信する回答提出処理を行わせるプログラムを記録した記録媒体。

【請求項 23】 前記第 2 のコンピュータに、前記回答書類に対する前記承認者の承認を依頼する通知を前記承認者宛に行う通知処理を行わせることを特徴とする請求項 22 記載の記録媒体。

【請求項 24】 前記第 1 のコンピュータと前記第 2 のコンピュータとは同一のコンピュータであることを特徴とする請求項 22 または 23 記載の記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は中間書類管理システム、中間書類管理方法および中間書類管理用プログラムを記録した記録媒体に関し、特に、インターネット等の通信ネットワークに接続された複数のコンピュータを受付処理担当者、発明者および書類作成担当者が使用して拒絶理由通知や拒絶査定謄本等の庁発送書類に対する提出書類を作成するための中間書類管理システム、中間書類管理方法および中間書類管理用プログラムを記録した記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、企業等においては、特許出願に関連して特許庁から拒絶理由通知書や拒絶査定謄本等の庁発送書類が送達された場合、まず、この庁発送書類を受信した企業の特許管理部門や弁理士事務所が発明者に当該庁発送書類を郵送し、発明者が当該庁発送書類に対する回答を作成した後に回答と該庁発送書類とを特許管理部門等に郵送して返却していた。

【0003】また、特許管理部門等では、発明者に当該庁発送書類を郵送したのちに発明者から該庁発送書類に関しての問い合わせがある場合に備えて、すべての案件について当該庁発送書類のコピーをとって保管していた。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】上述の従来技術では、庁発送書類や発明者の回答が、特許管理部門等と発明者との間で郵送されていたため、書類が送達するのに時間がかかってしまい、その結果、特許庁への提出書類を作成するための処理時間がかかってしまうという問題があった。

【0005】また、特許管理部門等では発明者からの問い合わせがあった場合に備えすべての案件について書類のコピーをとっていたが、実際に問い合わせがあるのは一部であるため、コピーをとるための手間が無駄になっていることがあるとともに紙も無駄になってしまうという問題があった。

【0006】本発明の目的は、インターネット等の通信ネットワークに接続された複数のコンピュータを受付処理担当者、発明者および書類作成担当者が使用して拒絶理由通知や拒絶査定謄本等の庁発送書類に対する提出書類を作成することができる中間書類管理システムを提供することにある。

【0007】本発明の他の目的は、特許管理部門等と発明者との間での書類のやり取りにかかる時間を削減できるとともに該やり取りを簡素化することができる中間書類管理システムを提供することにある。

【0008】

【課題を解決するための手段】本発明の第1の中間書類管理システムは、第1および第2のコンピュータが通信ネットワークを介して接続された中間処理管理システムであって、前記第1のコンピュータは、特許庁から送信される発送書類を電子的に受信する発送書類受信手段と、該受信手段で電子的に受信された発送書類を記憶装置に登録する登録手段と、回答者により前記記憶装置に登録される前記発送書類に対する回答書類を出力し、該回答書類に基づき回答処理担当者が作成する提出書類を特許庁に送信する回答提出手段とを備え、前記第2のコンピュータは、前記回答者からの指示に基づき、前記記憶装置に登録された発送書類を出力し、該発送書類に基づき前記回答者が作成する前記回答書類を前記記憶装置に登録する回答書類作成手段を備えたことを特徴とする。

【0009】本発明の第2の中間書類管理システムは、第1の中間書類管理システムにおいて、前記登録手段は、前記受信手段で電子的に受信された発送書類と該発送書類に係る特許出願番号とを関連付けて記憶装置に登録することを特徴とする。

【0010】本発明の第3の中間書類管理システムは、

第1または2の中間書類管理システムにおいて、前記回答書類作成手段は、所定の回答入力画面を前記回答者に提示し、該回答入力画面に該回答者が必要事項を入力したものを前記回答書類として前記記憶装置に登録することを特徴とする。

【0011】本発明の第4の中間書類管理システムは、第1、2または3の中間書類管理システムにおいて、前記第1のコンピュータは、前記発送書類の特許庁からの受信を前記回答者宛に通知する第1の通知手段を含むことを特徴とする。

【0012】本発明の第5の中間書類管理システムは、第1、2または3の中間書類管理システムにおいて、前記第2のコンピュータは、前記回答書類の前記記憶装置への登録を前記回答処理担当者宛に通知する第2の通知手段を含む。

【0013】本発明の第6の中間書類管理システムは、第1、第2および第3のコンピュータが通信ネットワークを介して接続された中間処理管理システムにおいて、前記第1のコンピュータは、特許庁から送信される発送書類を電子的に受信する発送書類受信手段と、該受信手段で電子的に受信された発送書類を記憶装置に登録する登録手段と、回答者により前記記憶装置に登録された、前記発送書類に対する回答書類であって承認情報が関連付けられているものを出力し、該回答書類に基づき回答処理担当者が作成する提出書類を特許庁に送信する回答提出手段とを備え、前記第2のコンピュータは、前記回答者からの指示に基づき、前記記憶装置に登録された発送書類を出力し、該発送書類に基づき前記回答者が作成する前記回答書類を前記記憶装置に登録する回答書類作成手段を備え、前記第3のコンピュータは、承認者の承認指示に基づき、前記回答書類と関連付けて前記承認情報を前記記憶手段に登録する承認手段を備えたことを特徴とする。

【0014】本発明の第7の中間書類管理システムは、第6の中間書類管理システムにおいて、前記第2のコンピュータは、前記回答書類に対する前記承認者の承認を依頼する通知を前記承認者宛に行う通知手段を含む。

【0015】本発明の第8の中間書類管理システムは、第6または7の中間書類管理システムにおいて、前記第1のコンピュータと前記第2のコンピュータとは同一のコンピュータであることを特徴とする。

【0016】本発明の第1の中間書類管理方法は、第1のコンピュータが、特許庁から送信される発送書類を電子的に受信する発送書類受信ステップと、前記第1のコンピュータが、該受信ステップで電子的に受信された発送書類を記憶装置に登録する登録ステップと、前記第2のコンピュータが、回答者からの指示に基づき、前記記憶装置に登録された発送書類を出力し、該発送書類に基づき前記回答者が作成する回答書類を前記記憶装置に登録する回答書類作成ステップと、前記第1のコンピュー

タが、前記回答者により前記記憶装置に登録される前記
 発送書類に対する回答書類を出力し、該回答書類に基づ
 き回答処理担当者が作成する提出書類を特許庁に送信す
 る回答提出ステップとを含む。

【0017】本発明の第2の中間書類管理方法は、第1
 の中間書類管理方法において、前記登録ステップにおい
 て、前記受信ステップで電子的に受信された発送書類と
 該発送書類に係る特許出願番号とを関連付けて記憶装置
 に登録することを特徴とする。

【0018】本発明の第3の中間書類管理方法は、第1
 または2の中間書類管理方法において、前記回答書類作
 成ステップにおいて、所定の回答入力画面を前記回答者
 に提示し、該回答入力画面に該回答者が必要事項を入力
 したものを前記回答書類として前記記憶装置に登録する
 ことを特徴とする。

【0019】本発明の第4の中間書類管理方法は、第
 1、2または3の中間書類管理方法において、前記第1
 のコンピュータは、前記発送書類の特許庁からの受信を
 前記回答者宛に通知する第1の通知ステップを含む。

【0020】本発明の第5の中間書類管理方法は、第
 1、2または3の中間書類管理方法において、前記第2
 のコンピュータが、前記回答書類の前記記憶装置への登
 録を前記回答処理担当者宛に通知する第2の通知ステッ
 プを含む。

【0021】本発明の第6の中間書類管理方法は、前記
 第1のコンピュータが、特許庁から送信される発送書類
 を電子的に受信する発送書類受信ステップと、前記第1
 のコンピュータが、該受信ステップで電子的に受信され
 た発送書類を記憶装置に登録する登録ステップと、前記
 第2のコンピュータが、回答者からの指示に基づき、前
 記記憶装置に登録された発送書類を出力し、該発送書類
 に基づき前記回答者が作成する前記回答書類を前記記憶
 装置に登録する回答書類作成ステップと、前記第3のコン
 ピュータが、承認者の承認指示に基づき、前記回答書
 類と関連付けて前記承認情報を前記記憶手段に登録する
 承認ステップと、前記第1のコンピュータが、前記回答
 者により前記記憶装置に登録された、前記発送書類に対
 する回答書類であって承認情報が関連付けられているも
 のを出力し、該回答書類に基づき回答処理担当者が作成
 する提出書類を特許庁に送信する回答提出ステップとを
 含む。

【0022】本発明の第7の中間書類管理方法は、第6
 の中間書類管理方法において、前記第2のコンピュータ
 は、前記回答書類に対する前記承認者の承認を依頼する
 通知を前記承認者宛に行う通知ステップを含む。

【0023】本発明の第8の中間書類管理方法は、第6
 または7の中間書類管理方法において、前記第1のコン
 ピュータと前記第2のコンピュータとは同一のコンピ
 ュータであることを特徴とする。

【0024】本発明の第1の記録媒体は、第1のコンピ

ュータに、特許庁から送信される発送書類を電子的に受
 信する発送書類受信処理を行わせ、前記第1のコンピ
 ュータに、該受信ステップで電子的に受信された発送書
 類を記憶装置に登録する登録処理を行わせ、前記第2の
 コンピュータに、回答者からの指示に基づき、前記記憶
 装置に登録された発送書類を出力し、該発送書類に基づ
 き前記回答者が作成する回答書類を前記記憶装置に登録
 する回答書類作成処理を行わせ、前記第1のコンピ
 ュータに、前記回答者により前記記憶装置に登録される前
 記発送書類に対する回答書類を出力し、該回答書類に基づ
 き回答処理担当者が作成する提出書類を特許庁に送信す
 る回答提出処理を行わせるプログラムを記録したことを特
 徴とする。

【0025】本発明の第2の記録媒体は、第1の記録媒
 体において、前記登録処理において、前記受信処理で電
 子的に受信された発送書類と該発送書類に係る特許出願
 番号とを関連付けて記憶装置に登録することを特徴とす
 る。

【0026】本発明の第3の記録媒体は、第1または2
 の記録媒体において、前記回答書類作成処理において、
 所定の回答入力画面を前記回答者に提示し、該回答入力
 画面に該回答者が必要事項を入力したものを前記回答書
 類として前記記憶装置に登録することを特徴とする。

【0027】本発明の第4の記録媒体は、第1、2また
 は3の記録媒体において、前記第1のコンピュータに、
 前記発送書類の特許庁からの受信を前記回答者宛に通知
 する第1の通知処理を行わせることを特徴とする。

【0028】本発明の第5の記録媒体は、第1、2また
 は3の記録媒体において、前記第2のコンピュータに、
 前記回答書類の前記記憶装置への登録を前記回答処理担
 当者宛に通知する第2の通知処理を行わせることを特徴
 とする。

【0029】本発明の第6の記録媒体は、前記第1のコン
 ピュータに、特許庁から送信される発送書類を電子的
 に受信する発送書類受信処理を行わせ、前記第1のコン
 ピュータに、該受信処理で電子的に受信された発送書類
 を記憶装置に登録する登録処理を行わせ、前記第2のコン
 ピュータに、回答者からの指示に基づき、前記記憶装
 置に登録された発送書類を出力し、該発送書類に基づ
 き前記回答者が作成する前記回答書類を前記記憶装置に
 登録する回答書類作成処理を行わせ、前記第3のコンピ
 ュータに、承認者の承認指示に基づき、前記回答書類と
 関連付けて前記承認情報を前記記憶手段に登録する承認
 処理を行わせ、前記第1のコンピュータに、前記回答者
 により前記記憶装置に登録された、前記発送書類に対す
 る回答書類であって承認情報が関連付けられているもの
 を出力し、該回答書類に基づき回答処理担当者が作成す
 る提出書類を特許庁に送信する回答提出処理を行わせる
 プログラムを記録したことを特徴とする。

【0030】本発明の第7の記録媒体は、第6の記録媒

10

20

30

40

50

体において、前記第2のコンピュータに、前記回答書類に対する前記承認者の承認を依頼する通知を前記承認者宛に行う通知処理を行わせることを特徴とする。

【0031】本発明の第8の記録媒体は、第6または7の記録媒体において、前記第1のコンピュータと前記第2のコンピュータとは同一のコンピュータであることを特徴とする。

【0032】

【発明の実施の形態】次に、本発明について図面を参照して詳細に説明する。

【0033】図1を参照すると、本発明の第1の実施の形態は、クライアントコンピュータ100と、クライアントコンピュータ200と、このクライアントコンピュータ200に接続された記憶装置210と、サーバコンピュータ300と、このサーバコンピュータ300に接続された記憶装置310と、クライアントコンピュータ400と、クライアントコンピュータ500とから構成されている。これらのコンピュータ100、200、300、400および500はプログラム制御により動作し、インターネット等の通信ネットワークを介して相互に接続されている。

【0034】クライアントコンピュータ100は、特許庁が使用し、庁発送書類送信手段101を含む。

【0035】庁発送書類送信手段101は、特許庁が出願人等に対し発送する拒絶理由通知や拒絶査定謄本等の庁発送書類を電子データの形で送信する。

【0036】クライアントコンピュータ200は、特許庁から発送された庁発送書類を受け付ける受付処理を行う場合や特許庁へ提出する提出書類を作成する場合に、企業内の特許中間処理担当部門の部員、または企業に特許中間処理手続を依頼された弁理士事務所の所員、により使用される。このコンピュータ200は、庁発送書類受信手段201と、庁発送書類アップロード手段202と、受付情報入力手段203と、受付情報送信手段204と、回答ダウンロード手段205と、処置決定入力手段206と、提出書類作成手段207と、提出書類送信手段208とを含む。

【0037】庁発送書類受信手段201は特許庁から発送された庁発送書類を受信する。

【0038】庁発送書類アップロード手段202は、特許庁から発送された庁発送書類を受け付ける受付処理を行う担当者（以下、「受付処理担当者」という）の指示により、庁発送書類受信手段201が受信した庁発送書類の電子データをサーバコンピュータ300に送出する。

【0039】受付情報入力手段203は受付情報を受付処理担当者に入力させ、該受付情報をサーバコンピュータ300に送信する。

【0040】回答ダウンロード手段205は、特許庁へ提出する提出書類を作成する場合に該提出書類を作成す

る担当者（以下、「書類作成担当者」という）が、発明者等の回答者による回答データの内容を参照するとき、書類作成担当者に所望の出願案件情報に係る回答データを選択させ、該回答データを包袋ファイル303から読み込むために用いられる。

【0041】処置決定入力手段206は、書類作成担当者が担当すべき全ての特許出願案件の中から該担当者に所望の案件を選択させ、書類作成担当者が該案件に対する処置結果情報を入力するために使用される。

【0042】提出書類作成手段207は、処置決定入力手段206により入力された処置結果情報に基づいて特許庁に提出すべき書類を選択し、選択された書類の定型書類を生成する。

【0043】提出書類送信手段208は、書類作成担当者により作成された提出書類を電子データの形でクライアントコンピュータ100に送信する。

【0044】サーバコンピュータ300は、庁発送書類受信手段301と、庁発送書類登録手段302と、受付情報受信手段303と、受付情報登録手段304と、通知手段305と、回答受信手段306と、回答登録手段307とを含む。このコンピュータ300に接続された記憶装置310には、包袋ファイル311が格納されており、このファイル311は包袋ファイル管理テーブル312を含む。包袋ファイルおよび包袋ファイル管理テーブル312には、特許出願案件毎に、特許出願時に作成された出願書類および書誌情報がそれぞれ格納されている。

【0045】図2はこのような包袋ファイル管理テーブル312の一例を示す。

【0046】図において、テーブル312は複数の発明届出情報を登録するための複数のエントリから構成され、各エントリは出願番号、発明の名称、発明者名、社員番号、所属部門、電話番号、庁発送書類種別、庁発送書類受付日、庁発送日等がそれぞれ登録されるフィールド21～29と当該出願案件情報に係る庁発送書類および回答データの包袋ファイル311内の格納アドレスがそれぞれ登録されるフィールド31～32とから構成される。

【0047】庁発送書類受信手段301はコンピュータ200内の庁発送書類アップロード手段202から送信された庁発送書類の電子データを受信する。

【0048】庁発送書類登録手段302は庁発送書類受信手段301が受信した庁発送書類の電子データを包袋ファイル311に格納し、格納先のアドレスを包袋ファイル管理テーブル312の庁発送書類格納アドレスフィールドに登録する。

【0049】受付情報受信手段303はクライアントコンピュータ200内の受付情報受信手段204から送信された受付情報を受信する。

【0050】受付情報登録手段304は、受付情報受信

手段 303 が受信した受付情報を包袋ファイル管理テーブル 312 に登録する。

【0051】通知手段 305 は、クライアントコンピュータ 400 を使用する発明者宛に庁発送書類に対する回答を依頼する旨の電子メールを通知する。

【0052】回答受信手段 306 はクライアントコンピュータ 400 から送信された回答データを受信する。

【0053】回答登録手段 307 は、回答受信手段 307 が受信した回答データを包袋ファイル 311 に格納し、格納先のアドレスを包袋ファイル管理テーブル 312 の回答データ格納アドレスフィールドに登録する。

【0054】クライアントコンピュータ 400 は、企業の従業員等（以下、「発明者」という。）が特許庁からの庁発送書類を参照し、該庁発送書類に係る案件に関する情報や当該庁発送書類に対する回答からなる回答データを作成し、特許中間処理担当部門または弁理士事務所に該回答データを送信するために用いられる。このコンピュータ 400 は、庁発送書類ダウンロード手段 401 と、回答入力手段 402 と、承認依頼手段 403 とを含む。

【0055】庁発送書類ダウンロード手段 401 は、発明者が選択した特許出願案件に係る庁発送書類を包袋ファイル 311 から読み込む。

【0056】回答入力手段 402 は庁発送書類が通知された案件に関する情報や該庁発送書類に対する回答を発明者に入力させ、回答データをサーバコンピュータ 300 に送信する。

【0057】承認依頼手段 403 は、回答入力が完了した旨を当該発明者の上司に通知し、発明者が作成した回答データの承認を該上司に依頼する。

【0058】クライアントコンピュータ 500 は発明者の上司により使用され、回答承認手段 501 を含む。回答承認手段 501 は回答データの承認を行うために用いられる。

【0059】次に、図 1～図 5 を参照して本実施の形態の全体の動作について詳細に説明する。

【0060】まず、クライアントコンピュータ 100 において、庁発送書類送信手段 101 が拒絶理由通知や拒絶査定謄本等の庁発送書類を送信する（ステップ A1）。

【0061】クライアントコンピュータ 200 において、庁発送書類受信手段 201 がこの庁発送書類を受信する（ステップ A2）。庁発送書類受信手段 201 は、受け取った庁発送書類を記憶手段 210 に格納する（ステップ A3）。

【0062】庁発送書類アップロード手段 202 は記憶装置 210 に格納された庁発送書類をサーバコンピュータ 300 に送出する（ステップ A4）。

【0063】受付情報入力手段 203 は、庁発送書類に記載された特許出願番号、庁発送書類の種別、発送番

号、引用文献名、受付日および庁発送日等を受付処理担当者に入力させるための受付情報入力画面を表示装置

（図示せず）に表示し、担当者による受付情報の入力を待ち合わせる（ステップ A5）。

【0064】受付情報入力画面の一例を図 4 に示す。

【0065】図において、この入力画面 10 には、受付情報を入力するための各入力フィールド、すなわち、出願番号が入力される出願番号入力フィールド 11 と、庁発送書類の種別が入力される種別入力フィールド 12 と、発送番号が入力される発送番号入力フィールド 13 と、引用文献名が入力される引用例フィールド 14 と、受付日が入力される受付日入力フィールド 15 と、庁発送日が入力される庁発送日入力フィールド 16 とが設けられている。本実施の形態においては、種別入力フィールド 13 に入力された種別と庁発送日入力フィールドに入力された庁発送日とに基づいて特許庁への応答期限である庁期限日を計算し庁期限日フィールド 17 に表示させる。この庁期限日を計算により求めない場合や、計算により求められた庁期限日と異なる日付を入力したい場合には、庁期限日フィールド 17 に直接入力することもできる。

【0066】受付入力担当者により、受付情報の入力が完了すると、受付情報送信手段 204 はサーバコンピュータ 300 に受付情報を送信する（ステップ A6）。

【0067】次に、サーバコンピュータ 300 において、庁発送書類受信手段 301 は、コンピュータ 200 内の庁発送書類アップロード手段 202 から送信された庁発送書類を受信する（ステップ A7）。

【0068】庁発送書類登録手段 302 は、庁発送書類受信手段 301 が受信した庁発送書類を包袋ファイル 311 に格納し、格納先のアドレスを包袋ファイル管理テーブル 312 に登録する（ステップ A8）。

【0069】受付情報受信手段 303 がクライアントコンピュータ 200 内の受付情報受信手段 204 から送信された受付情報を受信する（ステップ A9）。

【0070】受付情報登録手段 304 は、受付情報受信手段 301 が受信した受付情報に含まれる各情報を、包袋ファイル管理テーブル 312 の対応するエントリにそれぞれ登録する（ステップ A10）。具体的には、受付情報に含まれる庁発送書類の種別、発送番号、受付日および庁発送日は対応する出願番号の庁発送書類種別フィールド 27、庁発送書類受付日フィールド 28 および庁発送日等フィールド 29 にそれぞれ登録される。

【0071】通知手段 303 は、クライアントコンピュータ 400 を使用する発明者宛に庁発送書類に対する回答を依頼する旨の電子メールを通知する（ステップ A11）。

【0072】次に、クライアントコンピュータ 400 において、電子メールで通知を受けた発明者の指示により、庁発送書類ダウンロード手段 401 が起動される。

庁発送書類ダウンロード手段401は、包袋ファイル管理テーブル312を参照し当該発明者がなした発明の全ての特許出願案件（または庁発送書類を受信している特許出願案件）の出願情報の一覧を表示装置（図示せず）に表示し発明者に所望の案件を選択させる。庁発送書類ダウンロード手段401は選択された案件に係る書類の一覧を表示装置に表示し、発明者に所望の書類とダウンロードの方法とを選択させ、選択された特許出願案件に係る庁発送書類の格納アドレスを包袋ファイル管理テーブル312から知り、そのアドレスに基づき当該庁発送書類を包袋ファイル311から読み込む（ステップA12）。ダウンロードの方法としては、表示装置に表示させる方法と印刷装置（図示せず）に印刷させる方法とがある。

【0073】発明者の指示により、回答入力手段402が起動されると、回答入力手段402は庁発送書類に対する回答を発明者に入力させるための回答入力画面を表示装置（図示せず）に表示し、発明者による回答データの inputs を待ち合わせる（ステップA13）。発明者による回答入力完了すると、回答入力手段402は回答データをサーバコンピュータ300に送信する（ステップA14）。回答データは回答入力画面に直接入力され、入力された回答データは1つのファイルとしてサーバコンピュータ300に送信される。また、公知の文書作成ソフトウェアにより作成されたファイルや公知の描画ソフトウェアにより作成されたファイルを該ファイルのファイル名を指定して回答データとともにサーバコンピュータ300に送信させてもよい。回答入力手段402は、発明者の指示により、回答入力途中または回答入力完了後に回答データをコンピュータ400に接続された記憶装置（図示せず）に格納することができる。また、クライアントコンピュータ300内に回答入力手段402が回答データをサーバコンピュータ300に送信した場合に、回答データがサーバコンピュータ300に登録された旨を電子メールとうにより通知する通知手段を設けてもよい。

【0074】一方、サーバコンピュータ300では、回答受信手段306がクライアントコンピュータ400の回答入力手段402から送信された回答データを受信する。回答登録手段302は、回答受信手段301が受信した回答データを包袋ファイル311に登録する（ステップA15）。

【0075】このステップA15における登録処理の具体例としては、回答データを包袋ファイル311に格納するとともに、その格納アドレスと出願案件情報とを対応付ける包袋ファイル管理テーブル304を包袋ファイル311に設ける方法を挙げることができる。

【0076】ステップA15における登録処理の他の具体例としては、発明届出情報と原稿データとをまとめて1ディレクトリ（ファイル）配下に格納し、クライアン

トコンピュータ400を使用する発明者とクライアントコンピュータ200を使用する受付入力担当者または書類作成担当者の双方が該原稿データを一意に認識することができるディレクトリ（ファイル）名、例えば出願案件情報に含まれる出願番号をディレクトリ（ファイル）名として付して包袋ファイル311に登録するといった方法が考えられる。

【0077】以上のようにして回答入力手段402による回答入力終了すると、クライアントコンピュータ400の承認依頼手段403は、発明者の指示により、回答入力完了した旨を当該発明者の上司に通知し、サーバコンピュータ300の記憶手段310内の包袋ファイル311に格納された回答データの承認を該上司に依頼する（ステップA16）。このとき、発明者から上司に通知される内容には、承認を依頼したい出願案件情報のうちの少なくとも一部（以下の説明では、これは「出願番号」であるとする。）が含まれる。

【0078】ここで、上司への承認依頼通知は、電子メール等の適当な通知手段を利用できる。例えば、電子メールを使用する場合には、この承認依頼の電子メールの宛先アドレス（すなわち、上司の電子メールアドレス）は、発明者が直接入力するようにしてもよいし、または、社員間の上下関係（上司と該上司の部下との対応づけ）とともにその会社の全社員の名前と社員番号と電子メール・アドレスとが対応づけられて登録されている電子メール・アドレス・データベースを予め用意しこのデータベースを発明者の社員番号をもとに検索しその上司の電子メールアドレスを取得して自動的に設定するようにしてもよい。また、電子メールは発明者が使用しているクライアントコンピュータ400またはサーバコンピュータ300のいずれから送信させてもよい。サーバコンピュータ300から送信させる場合には、送信元およびエラー時の返送先として当該発明者の電子メールアドレスを設定する。

【0079】以後の説明では電子メールを使用して各種の通知を行うものとする。

【0080】次に、以上のような承認依頼に回答して上司が使用するクライアントコンピュータ500が行う動作について説明する。

【0081】承認依頼の通知を受けた上司の指示により、回答承認手段501が起動される。回答承認手段501は、包袋ファイル管理テーブル312を参照し当該上司に対し承認の依頼がなされている全ての特許出願案件の出願情報の一覧を表示装置（図示せず）に表示し上司に所望の案件を選択させる。回答承認手段は選択された案件に係る回答データのファイルが格納されたアドレスを包袋ファイル管理テーブル312から知り、そのアドレスに基づき当該回答データを包袋ファイル311から読み出し表示装置に表示し、上司による承認入力を待ち合わせる。指定された案件に回答ファイルの他に添付

されたファイルがある場合には、回答承認手段501は当該上司の指示に応じて該ファイルを表示させてもよい。上司が入力する内容としては、承認入力または発明者に対する差し戻し入力がある。上司により承認入力となされた場合は、回答承認手段501は承認情報をサーバコンピュータ300に送出する。発明者に対する差し戻し入力となされた場合は、回答承認手段は、発明者に回答を訂正するよう通知する。上司による承認入力完了すると、回答承認手段501は承認情報をサーバコンピュータ300に送信する（ステップA17）。

【0082】回答承認手段501において、発明者に対する差し戻し入力が行われた場合は、ステップA14～A17の処理が上司が承認入力を行うまで繰り返される。

【0083】以上のようにしてサーバコンピュータ300に庁発送書類に対する発明者からの回答データが登録され、上司による承認が完了すると、クライアントコンピュータ200において書類作成担当者が回答データを参照して提出書類の作成を行えるようになる。なお、上司による承認は省略するよう設定してもよい。この場合は、発明者からの回答データのサーバコンピュータ300への登録が完了したときにクライアントコンピュータ200における提出書類の作成が可能となる。

【0084】提出書類を作成する場合には、書類作成担当者の指示により、コンピュータ200の回答ダウンロード手段205が、サーバコンピュータ300の包袋ファイル311内の包袋ファイル管理テーブル312を参照し該担当者が書類を作成すべき案件の出願案件情報（または特定の条件を満たすもののみ）の一覧を表示装置（図示せず）に表示し、書類作成担当者に所望の出願案件情報を選択させ、選択された出願案件情報に係る回答データの格納アドレスを包袋ファイル管理テーブル312から知り、そのアドレスに基づき当該回答データを包袋ファイル311から読み込む（ステップA18）。

【0085】次に、書類作成担当者の指示により、処置決定入力手段206が起動される。処置決定入力手段206は、包袋ファイル管理テーブル312を参照し当該担当者が担当すべき全ての特許出願案件の出願情報の一覧を示す処置決定入力画面を表示装置（図示せず）に表示し担当者に所望の案件を選択させる（ステップA19）。

【0086】図5は処置決定入力画面の一例を示す。

【0087】該入力画面には出願番号が表示される出願番号フィールド21と、発明の名称フィールド22と、発明者の回答の内容を示す解答フィールド23と、発明者名フィールド24と、発明者の連絡先フィールド25と、庁発送書類の種別が表示される種別フィールド26と、庁期限日が表示される庁期限日フィールド27と、処置結果情報が入力される処置結果情報入力フィールド28とが設けられている。

【0088】担当者により処置結果情報入力フィールドに処置結果情報が入力されると、担当者の指示により、提出書類作成手段が起動される。提出書類作成手段は、処置結果情報に基づいて特許庁に提出すべき書類を選択しこれらの書類の一覧を表示装置（図示しない）に表示し、担当者に所望の書類を選択させる。例えば、庁発送書類の種別が拒絶理由通知書であり、これに対する処置結果情報が意見書および手続補正書の提出を示しているのであれば、提出書類作成手段は意見書と手続補正書とを示す書類の一覧を表示する（ステップA20）。表示された一覧に提出すべき書類名が含まれていない場合や、表示された書類と異なる書類を提出する場合には、担当者が直接入力または訂正することができる。提出書類作成手段は、当該書類に係る案件の出願番号、請求項の数、出願人または請求人および発送番号等の情報を参照して当該書類の1頁目を作成し、公知の文書作成ソフトウェアを自動的に起動して表示装置に表示するか、または、サーバコンピュータ200に接続された記憶装置に格納する（ステップA21）。担当者により作成された書類は記憶装置に格納される。請求項の数に増減されて異なる場合や書誌的な事項がある場合にはこれらの情報も登録し提出書類の作成に用いるようにさせてもよい。

【0089】書類作成担当者が提出書類の作成を最終的に完了すると、クライアントコンピュータ200の提出書類送信手段208は、クライアントコンピュータ200の記憶装置210に格納された提出書類をクライアントコンピュータ100に送信する（ステップ22）。

【0090】次に、クライアントコンピュータ100において、提出書類受信手段102は、クライアントコンピュータ200から送信された提出書類を受信する。

【0091】以上のように、本実施の形態では、庁発送書類に対する回答データを作成する発明者が使用するクライアントコンピュータ400と該回答データを参照して提出書類を作成する書類作成担当者が使用するクライアントコンピュータ200とがサーバコンピュータ300を介して該回答データを送受信しながら提出書類を極めて効率的に作成することができるという効果がある。

【0092】

【発明の効果】以上説明したように、本発明には、庁発送書類に対する回答データを作成する発明者が使用するクライアントコンピュータと該回答データを参照して提出書類を作成する書類作成担当者が使用するクライアントコンピュータとがサーバコンピュータを介してやり取りを行うため、提出書類を極めて効率的に作成することができる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施の形態の構成を示すブロック図である。

【図2】本発明の包袋ファイル管理テーブル312の一

例を示す図である。

【図3】本発明の第1の実施の形態の動作の一部を示す流れ図である。

【図4】本発明の受付情報入力画面の一例を示す図である。

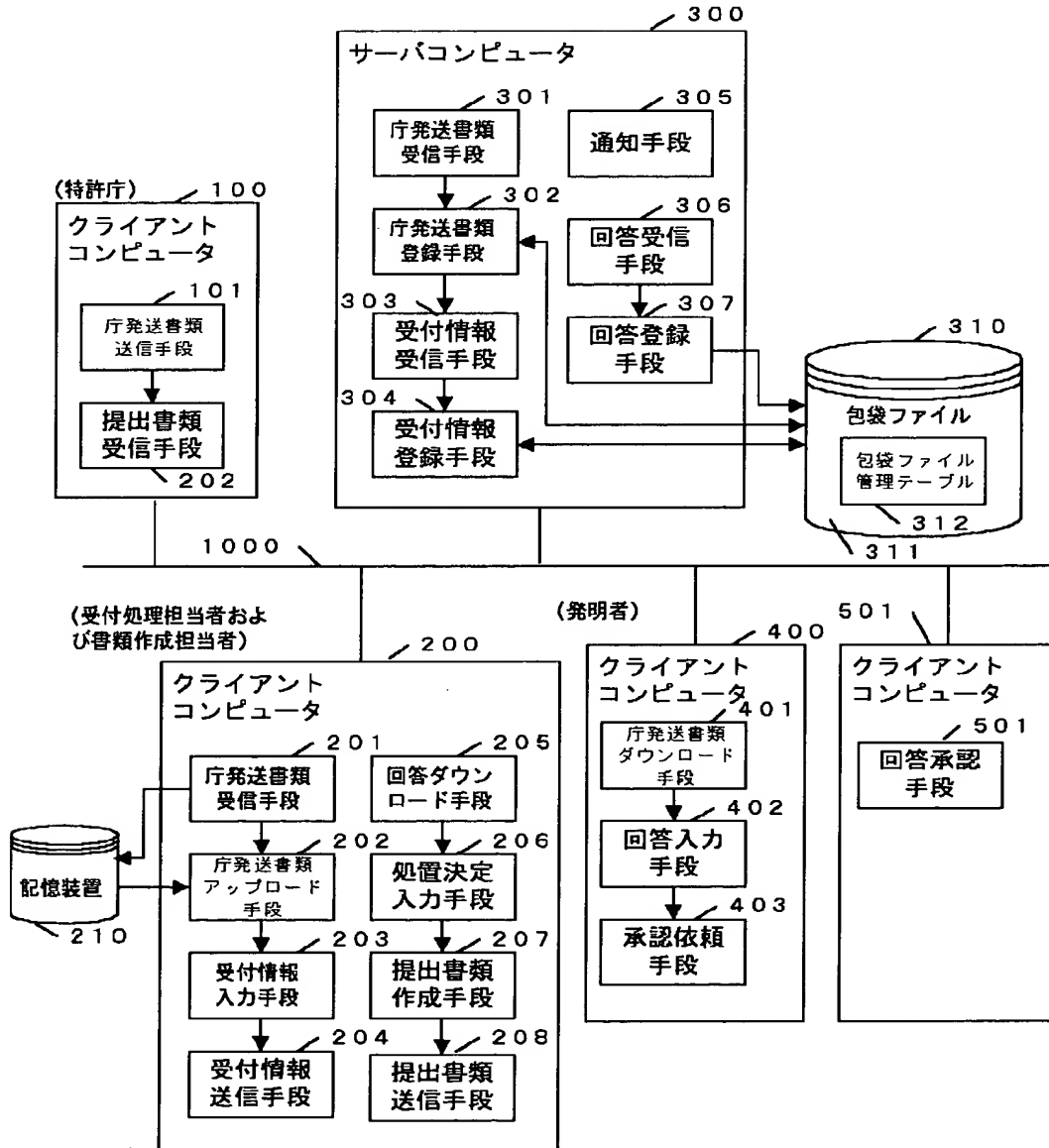
【図5】本発明の処置決定入力画面の一例を示す図である。

* 【符号の説明】

| | |
|-----|--------------|
| 100 | クライアントコンピュータ |
| 200 | クライアントコンピュータ |
| 300 | サーバコンピュータ |
| 400 | クライアントコンピュータ |
| 500 | クライアントコンピュータ |

*

【図1】



[illegible]

10

受付情報入力一覧

| 理番 | 出題番号 | 庁免送 金減額別 | 免送番号 | 引用例 | 受付日 | 庁免送日 | 庁開映日 |
|----|------|-------------|------|-----|-----|------|------|
| 1 | | | | | | | |
| 2 | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | |

11
12
13
14
15
16
17

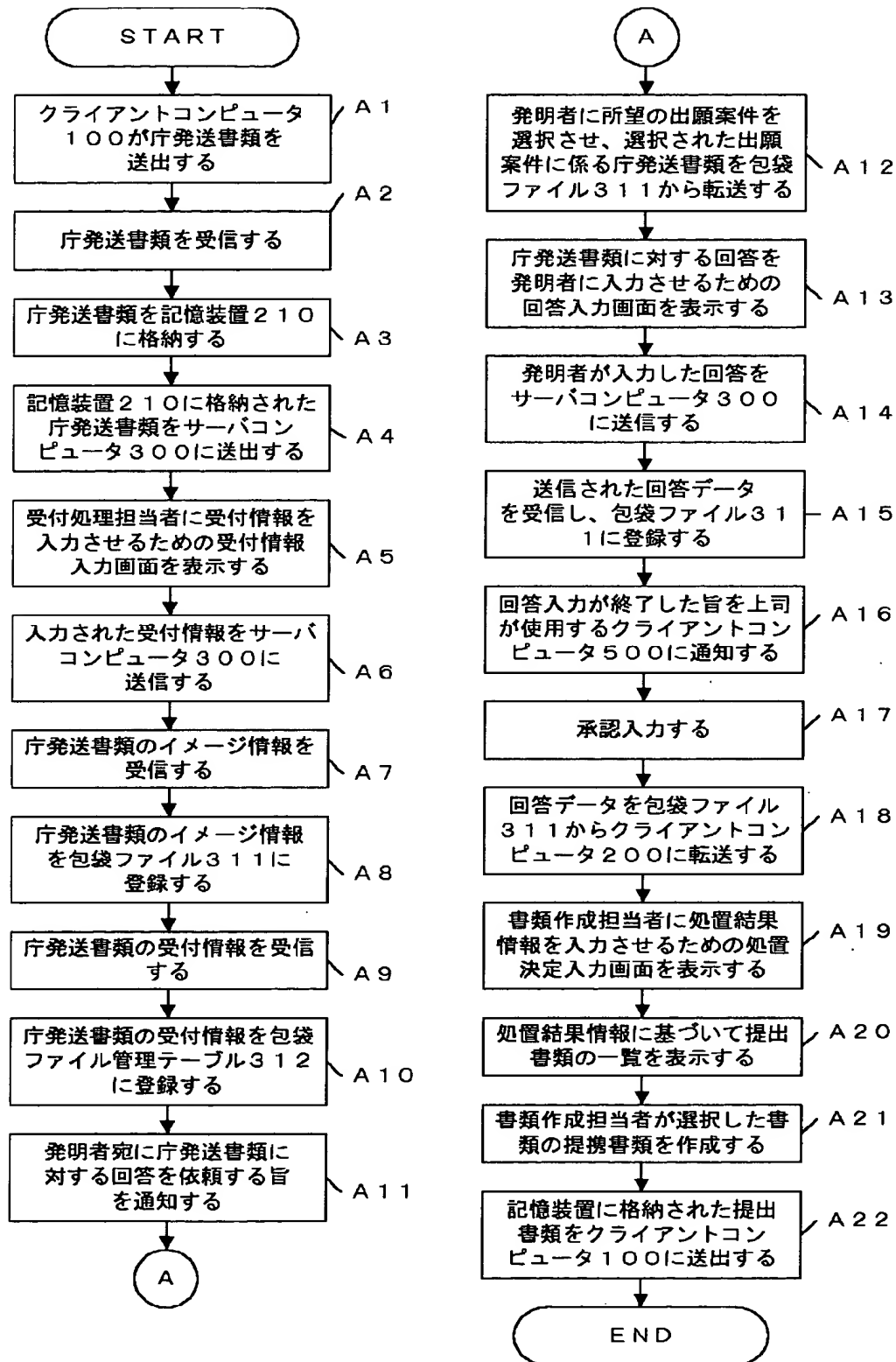
20

処置決定入力一覧

| 項 番 | 出典番号 | 発明の 名称 | 図表内容 | 発明者名 | 発明者 連絡先 | 庁発正 審裁種別 | 庁附属日 | 処置検討 結果 |
|--------|------|-----------|------|------|------------|-------------|------|------------|
| 1 | | | | | | | | |
| 2 | | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | |

21 22 23 24 25 26 27 28

【図3】



【手続補正書】

【提出日】平成11年5月14日

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 第1、第2および第3のコンピュータが通信ネットワークを介して接続された中間処理管理システムにおいて、

前記第1のコンピュータは、
特許庁から送信された発送書類を電子的に受信する発送書類受信手段と、

前記発送書類受信手段により電子的に受信された発送書類を記憶装置に登録する登録手段と、

回答者により前記記憶装置に登録された、前記発送書類に対する回答書類であって承認情報が関連付けられているものを出力し、該回答書類に基づいて回答処理担当者が作成する提出書類を特許庁に送信する回答提出手段とを備え、

前記第2のコンピュータは、
前記回答者からの指示に基づいて前記記憶装置に登録された発送書類の内容を表示し、該発送書類の内容に基づいて前記回答者が作成する前記回答書類を前記記憶装置に登録する回答書類作成手段を備え、

前記第3のコンピュータは、
承認者の承認指示に基づいて前記回答書類と関連付けて前記承認情報を前記記憶手段に登録する承認手段を備えたことを特徴とする中間処理管理システム。

【請求項2】 前記第2のコンピュータは、前記回答書類作成手段により前記記憶装置に登録された前記回答書類に対する承認依頼を承認者宛に通知する承認依頼手段を含むことを特徴とする請求項1記載の中間処理管理システム。

【請求項3】 前記第2のコンピュータは、前記回答書類作成手段により前記記憶装置に登録された前記回答書類に対する承認依頼を承認者宛に通知する承認依頼手段を含み、

前記承認手段は、前記承認依頼手段により通知された承認依頼を受けた前記承認者からの指示に基づいて前記記憶装置に登録された前記回答書類の内容を表示し、該回答書類の内容に基づいて前記承認者が入力する前記承認情報を前記記憶装置内の該回答書類に関連づけて登録することを特徴とする請求項1記載の中間処理管理システム。

【請求項4】 前記登録手段は、前記発送書類受信手段により電子的に受信された発送書類と該発送書類に係る特許出願番号とを関連付けて記憶装置に登録することを特徴とする請求項1から3のいずれかに記載の中間処理

システム。

【請求項5】 前記回答書類作成手段は、所定の回答入力画面を表示し、該回答入力画面に回答者が必要事項を入力したものを前記回答書類として前記記憶装置に登録することを特徴とする請求項1から4のいずれかに記載の中間処理管理システム。

【請求項6】 前記第1のコンピュータは、特許庁から送信された前記発送書類を受信したことを前記回答者宛に通知する第1の通知手段を含むことを特徴とする請求項1から5のいずれかに記載の中間処理管理システム。

【請求項7】 前記第2のコンピュータは、前記回答書類が前記記憶装置へ登録されたことを前記回答処理担当者宛に通知する第2の通知手段を含むことを特徴とする請求項1から6のいずれかに記載の中間処理管理システム。

【請求項8】 前記第1のコンピュータと前記第2のコンピュータとは同一のコンピュータであることを特徴とする請求項1から7のいずれかに記載の中間処理管理システム。

【請求項9】 第1のコンピュータが特許庁から送信された発送書類を電子的に受信する発送書類受信ステップと、

前記第1のコンピュータが前記発送書類受信ステップにおいて電子的に受信された発送書類を記憶装置に登録する登録ステップと、

第2のコンピュータが回答者からの指示に基づいて前記記憶装置に登録された発送書類の内容を表示し、該発送書類の内容に基づいて前記回答者が作成する前記回答書類を前記記憶装置に登録する回答書類作成ステップと、
第3のコンピュータが承認者の承認指示に基づいて前記回答書類と関連付けて前記承認情報を前記記憶手段に登録する承認ステップと、

前記第1のコンピュータが前記回答者により前記記憶装置に登録された、前記発送書類に対する回答書類であって承認情報が関連付けられているものを出力し、該回答書類に基づいて回答処理担当者が作成する提出書類を特許庁に送信する回答提出ステップとを含むことを特徴とする中間処理管理方法。

【請求項10】 前記第2のコンピュータが前記回答書類作成ステップにおいて前記記憶装置に登録された前記回答書類に対する承認依頼を承認者宛に通知する承認依頼ステップを含むことを特徴とする請求項9記載の中間処理管理方法。

【請求項11】 前記第2のコンピュータが前記回答書類作成ステップにおいて前記記憶装置に登録された前記回答書類に対する承認依頼を承認者宛に通知する承認依頼ステップと、

前記第3のコンピュータが前記承認依頼ステップにおいて通知された承認依頼を受けた前記承認者からの指示に

基づいて前記記憶装置に登録された前記回答書類の内容を表示し、該回答書類の内容に基づいて前記承認者が入力する前記承認情報を前記記憶装置内の該回答書類に関連づけて登録する前記承認ステップとを含むことを特徴とする請求項 9 記載の中間処理管理方法。

【請求項 1 2】 前記登録ステップは、前記発送書類受信ステップにおいて電子的に受信された発送書類と該発送書類に係る特許出願番号とを関連付けて記憶装置に登録することを特徴とする請求項 9 から 1 1 のいずれかに記載の中間処理管理方法。

【請求項 1 3】 前記回答書類作成ステップは、所定の回答入力画面を表示し、該回答入力画面に回答者が必要事項を入力したものを前記回答書類として前記記憶装置に登録することを特徴とする請求項 9 から 1 2 のいずれかに記載の中間処理管理方法。

【請求項 1 4】 前記第 1 のコンピュータが特許庁から送信された前記発送書類を受信したことを前記回答者宛に通知する第 1 の通知ステップを含むことを特徴とする請求項 9 から 1 3 のいずれかに記載の中間処理管理方法。

【請求項 1 5】 前記第 2 のコンピュータが前記回答書類が前記記憶装置へ登録されたことを前記回答処理担当者宛に通知する第 2 の通知ステップを含むことを特徴とする請求項 9 から 1 4 のいずれかに記載の中間処理管理方法。

【請求項 1 6】 前記第 1 のコンピュータと前記第 2 のコンピュータとは同一のコンピュータであることを特徴とする請求項 9 から 1 5 のいずれかに記載の中間処理管理方法。

【請求項 1 7】 第 1 のコンピュータに、特許庁から送信された発送書類を電子的に受信する発送書類受信処理を行わせ、

前記第 1 のコンピュータに、前記発送書類受信処理において電子的に受信された発送書類を記憶装置に登録する登録処理を行わせ、

第 2 のコンピュータに、回答者からの指示に基づいて前記記憶装置に登録された発送書類の内容を表示し、該発送書類の内容に基づいて前記回答者が作成する前記回答書類を前記記憶装置に登録する回答書類作成処理を行わせ、

第 3 のコンピュータに、承認者の承認指示に基づいて前記回答書類と関連付けて前記承認情報を前記記憶手段に登録する承認処理を行わせ、

前記第 1 のコンピュータに、前記回答者により前記記憶装置に登録された、前記発送書類に対する回答書類であって承認情報が関連付けられているものを出力し、該回

答書類に基づいて回答処理担当者が作成する提出書類を特許庁に送信する回答提出処理を行わせるプログラムを記録したことを特徴とする記録媒体。

【請求項 1 8】 前記第 2 のコンピュータに、前記回答書類作成処理において前記記憶装置に登録された前記回答書類に対する承認依頼を承認者宛に通知する承認依頼処理を行わせるプログラムを記録したことを特徴とする請求項 1 7 記載の記録媒体。

【請求項 1 9】 前記第 2 のコンピュータに、前記回答書類作成処理において前記記憶装置に登録された前記回答書類に対する承認依頼を承認者宛に通知する承認依頼処理を行わせ、

前記第 3 のコンピュータに、前記承認依頼処理において通知された承認依頼を受けた前記承認者からの指示に基づいて前記記憶装置に登録された前記回答書類の内容を表示し、該回答書類の内容に基づいて前記承認者が入力する前記承認情報を前記記憶装置内の該回答書類に関連づけて登録する前記承認処理を行わせるプログラムを記録したことを特徴とする請求項 1 7 記載の記録媒体。

【請求項 2 0】 前記第 1 のコンピュータに、前記発送書類受信処理において電子的に受信された発送書類と該発送書類に係る特許出願番号とを関連付けて記憶装置に登録する前記登録処理を行わせるプログラムを記録したことを特徴とする請求項 1 7 から 1 9 のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項 2 1】 前記第 2 のコンピュータに、所定の回答入力画面を表示し、該回答入力画面に回答者が必要事項を入力したものを前記回答書類として前記記憶装置に登録する前記回答書類作成処理を行わせるプログラムを記録したことを特徴とする請求項 1 7 から 2 0 のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項 2 2】 前記第 1 のコンピュータに、特許庁から送信された前記発送書類を受信したことを前記回答者宛に通知する第 1 の通知処理を行わせるプログラムを記録したことを特徴とする請求項 1 7 から 2 1 のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項 2 3】 前記第 2 のコンピュータに、前記回答書類が前記記憶装置へ登録されたことを前記回答処理担当者宛に通知する第 2 の通知処理を行わせるプログラムを記録したことを特徴とする請求項 1 7 から 2 2 のいずれかに記載の記録媒体。

【請求項 2 4】 前記第 1 のコンピュータと前記第 2 のコンピュータとは同一のコンピュータであることを特徴とする請求項 1 7 から 2 3 のいずれかに記載の記録媒体。

フロントページの続き

(51) Int. Cl. ⁶

識別記号

F I

G 0 6 F 15/419

3 2 0

(72) 発明者 井本 史生

東京都港区芝五丁目 7 番 1 号 日本電気株
式会社内

(72) 発明者 松本 真次

神奈川県川崎市高津区坂戸 3 丁目 2 番 1 号
(かながわサイエンスパーク R & D ビジネ
スパークビル) 株式会社エヌイーシー情
報システムズ内